



キラリと光る講座紹介

アカデミーでは、皆さまに様々な分野の講座をご紹介することで、“知識の海へ”の航海のお手伝いをいたしております。今回は、キラリと光る講座の数々をご紹介いたします。

政治・社会 水曜 13:00 プラザ 少子高齢化の政治・社会学

2020年度前期政治・社会講座・ワークショップのテーマは、現在進行しつつある「少子高齢化」です。講座では、基礎的データ、変化しつつある家族・社会のあり方を踏まえ、雇用・教育・社会保障との関係、外国人受入れや8050問題などの具体的課題、川崎市での調査結果をとり上げ、少子高齢化を様々な角度から考えます。ワークショップでは、討論や報告を交えて少子高齢化の問題状況を整理し、不安を抱くだけでなく、主体的に取り組んでいけることを目標に学習を進めていきます。



講師は、西村幸満先生（国立社会保障・人口問題研究室長）、本田由紀先生（東京大学教授）をはじめ、政治学・社会学の第一線でご活躍の先生方です。この貴重な機会にぜひ、改めて少子高齢化について考えてみましょう。

世界史 金曜 10:30 プラザ 中央ユーラシアの歴史（第1部）

中央ユーラシア、それはシルクロードを隊商が行き交い、騎馬民族が草原を疾駆し、宗教美術の華が咲いた世界です。そしてまた幾多の大帝国が誕生した世界でもあります。しかし、「大航海時代」以降は歴史の表舞台から



チンギス・カン騎馬像

消えた印象があります。17世紀以降、清朝とロシア帝国が中央ユーラシアの大半を版図に収め、ソ連崩壊後は中央アジアに5つの国が誕生しました。そして、中国の「一帯一路」政策が進行しています。

本講座では、最新の研究成果に基づいて、一年をかけて古代から現代までの中央ユーラシアの歴史を学習し、世界史の中でどのように展開して行くのかを考えていきます。

モスク、サマルカンド



文学 水曜 10:30 プラザ 宮澤賢治の童話を読みなおす

2020年度前期文学講座では、以前より皆さんからの要望が多かった小森陽一先生（12回）による「宮澤賢治の童話を読みなおす」が実現しました。

小森先生は2001年に、かわさき市民アカデミー講座ブックレットNO.7『いま、宮澤賢治を読みなおす』を上梓していらっしゃいますが、すでに絶版になっています。その時に聴講された方はいらっしゃるでしょうか。

今回は宮澤賢治生前唯一の童話集『注文の多いレストラン』の一篇ずつをとり上げ細かく解説されます。小森先生自らの素敵な朗読もあることと思います。宮澤賢治の文学の特質のみならず、宮澤賢治という人物についての言及もなされるのではないのでしょうか。久しぶりに宮澤賢治の作品についてのお話を伺えるとても貴重な機会です。ぜひ皆様ご受講ください。



人間学 木曜 13:00 プラザ
人間学再論 — 生老病死の思想

人間は複雑な生きものです。“私とは何か、私たちはどこから来てどこへ行くのか”と自らの存在の意味を問い、どう“世の中”と関わってゆけばよいのかを探りながら生きています。殊に、個人主義の時代に生きている私たちは自らの意志で自らの生き方を選択してゆかざるを得ません。人間学講座はこれらの問題を多様な分野で活動されている講師のお話を伺いながら共に考え、各自の生き方に取り入れてゆくことを目指しています。

講座の構成や講師の選定はコーディネーターの竹内整一先生がなさいます。講師には、あまり専門的にならず、全体が見えやすいように分かり易く話していただけるよう、先生からお願いしてあります。また、受講生の意向を反映できるように、每期アンケートを実施し、世話人と竹内先生の話し合いを通して講座に活かしてゆくように努めています。

交流館（歴史） 水曜 14:00 交流館
江戸時代の道と旅

江戸時代の道と旅の様子を調べ、それを通して日本人の旅行の源流を探る歴史講座です。この講座では、「街道と旅」「信仰と旅」「旅と記録」などをテーマに、日本人は旅というものをどのように考え、どのような旅をして来たのかが明らかにされます。「旅」を切り口にした日本文化論でもあります。講師は日本の交通史がご専門の山本光正先生です。どうぞご期待ください。会場の前は旧東海道で、近くにはかつて川崎宿の本陣がありました。そのような環境の中で講義が行われます。日本の歴史や文化、旅に関心のある皆様にぜひ受講していただきたい講座です。



宮前（歴史） 木曜 14:00 宮前
鎌倉武士と板碑の文化

宮前講座は今回、地域の歴史板碑について学びます。講師に國學院大學名誉教授千々和到先生をお招きいたします。先生の専門は日本中世史、民衆生活史、鎌倉時代の宗教・文化史等です。

板碑（いたび）は、主に供養塔として使われる



日本最古の板碑（1227年） 石碑の一種で、分布地域は、主に関東ですが、日本全国に分布します。建てられた時期は、鎌倉時代～室町時代前期に集中。分布地域も、鎌倉武士集団の発祥の地域にあり、彼らの信仰に強く関連すると考えられています。当地の歴史を学ぶよい機会と考えます。

社会福祉WS 火曜 10:30 プラザ
社会福祉の課題を考える — さまざまな領域から

多くの方は、程度の差こそあれ、福祉社会に関わっています。その関わり方も本人・家族の誰かが、高齢者、障害者、子ども、乳幼児等として介護、看護・擁護・支援のサービスを受けたり、あるいは提供しております。また、行・財政の立場からも大きなサポートに依っております。我々はこの社会福祉をあらゆる切り口から学ぼうとするワークショップです。

昨秋、東大名誉教授・明治学院大学武川省吾教授をコーディネーターに“社会福祉入門”を新たにはじめ、今春4月から、“社会福祉の課題を考える”をテーマに、更に研鑽を積んでいこうとしています。毎回、講義最後の質疑応答で交わされる率直な意見や質問に心打たれることが多く、次回への糧となっております。

ご興味のある方、是非一緒に学びませんか。お待ちしております。



新しい科学の世界Ⅱ 金曜 15:00 プラザ
未知に挑んだ科学者たち

科学の研究は、多くの先人やその学問の開拓者たちの努力の上に、さらに一枚の層を重ねて行くようなものです。そのことをニュートンは「巨人の肩の上に立つ（多くの科学者の業績に負うところの大きい活動）」と表現していました。この講座では、物理・化学・生物・地球や宇宙など科学のあらゆる分野の研究を紹介するとともに、その学問がどのように発展して来たかを明らかにします。



ニュートン

また今年は、明治以降で戦前と戦後の時間がほぼ同じ長さになることから、戦前と戦後それぞれの科学技術と社会との関係を比較し、今後の課題を明らかにする池内了先生の講義も行われます。ご期待ください。

建築と都市 水曜 10:30 プラザ 西洋建築の歴史

「建築と都市」は2017年にスタート、4年目の春を迎えます。前期はイタリアを中心とした「ヨーロッパの都市と建築」、後期は「日本の都市と建築」という編成で進められます。

前期は、法政大学教授の陣内秀信先生、後期は東海大学教授の小沢朝江先生のコーディネートで魅力的かつ充実した講座設計が実現し、多くの建築ファンが熱心に受講しています。



昨年前期から陣内研究室の稲益祐太先生がコーディネートを引き継がれましたが、受講生が90名を超えたため401教室に転居しました。

建築をコアに、歴史、地理、環境、美術、宗教、地政など、実に豊潤な“知の海”に漕ぎ出でることができるのがこの講座の醍醐味です。稲益先生を始めとする円熟・気鋭の研究者のラインナップによる「西洋建築の歴史」へのご参加をお待ちしております。

音楽Ⅱ 木曜 13:30 新百合 フランス革命期を生きたベートーヴェン

今年はベートーヴェン（1770～1827）の生誕250年です。様々な催しがクラシック音楽界で企画されるようですが、本アカデミーでもこの偉大な作曲家に焦点を当てた2つの講座がこの春から始まります。同じ木曜日、同じ会場（新百合ヶ丘）の午前午後で開催される、音楽Ⅰ「モーツァルトとベートーヴェン」、そして音楽Ⅱ「フランス革命期を生きたベートーヴェン」がそれです。



音楽Ⅱは近時、横井雅子先生と丹羽正明先に半期ごとの交代

でレクチャー頂いていますが、丹羽先生のご発案とご尽力により、現在我が国で最高のベートーヴェン研究者と称される平野昭先生に、2半期24回をかけてその全生涯と作品をお話頂けることとなりました。著名なモーツァルト研究者である海老澤敏先生の音楽Ⅰと合わせ、新百合の木曜日、至福の時間を過ごしませんか。

日本の伝統芸能 月曜 13:30 高津 伝統芸能の過去・現在・未来(前期)

オリンピックイヤーが始まりました。沢山の外国の方が来日されます。国立競技場や東京スタジアムを目指して。でもその多くの方々のもう一つのお目当てが国立能楽堂や国立劇場であることをご存じでしょうか。とても沢山の外国人が来日の機会にお能や文楽といった日本の伝統芸能に触れたいと訪れるのです。さて貴方は、そうした外国の方たちに能楽や浄瑠璃を語れますか。ひしぎ（能の笛）、さわり（三味線）、ゆらぎ（箏＝ひちりき）といった和楽器独特の音色を説明できますか。

でも、「説明」出来なくとも、貴方は知っています。その音を耳にするとなぜか心を揺さぶられる。この講座はそうした私たち日本人が長い間親しんできた「音色」の世界を訪ねる旅です。

雅楽、仏教音楽（声明＝しょうみょう）、祭囃子等々沢山の「日本の音」を巡ります。



三曲合奏

自然Ⅱ（川崎学）火曜 10:30 プラザ つばさに観る自然の姿

自然は、見方を変えることにより様々な姿を私たちに見せます。自然Ⅱでは、座学と野外学習の両面から、川崎周辺の動物・植物、地形・地質の各分野をつばさに観て学ぶことで、自然を多角的に観る目を養うことができます。

2020年度前期は、三浦半島、町田、静岡、秩父の各地に赴きます。野外学習を終えて自宅に戻って来たときに、そういえば、うちの周りの自然って

野外講座は9回
三浦半島、町田
静岡、秩父へ



どうなのかな？川崎はどうなのかな？と自宅周辺、自分の住む街、川崎市内の自然がだんだんと気になってくるかもしれません。それらに目を向けたときに、新たな発見や疑問が次々と湧き出て、ご自身の経験や自然Ⅱでの学習が今後のご自身の活動に更に活かされることを期待しています。

歴史（川崎学）土曜 10：30 プラザ
川崎に生きた人々―人々の願いを実現しようとした人たち

く生まれも育ちも川崎、幼少期から川崎、青年期から川崎、熟年期から川崎、川崎市域外に生活拠点がある方、体験が違えば、考え方も異なるいろいろな人々が一緒に、川崎の歴史を学び、顔見知りになり、掘り下げ、未来に目を向ける。それは楽しくて、有意義だと思いつながりながら講座を受講しています。



講座はコーディネーターの先生方の指導の下、『支配者がどのように地域支配を行ったのかではなく、反対に**地域住民の視点から歴史を問い直す**』を軸に川崎の地域史を原始・古代から近現代までを学んでいます。

前期テーマは「川崎に生きた人々：人々の願いを実現しようとした人たち」です。

2～3回の野外学習を設け、小杉御殿・稲毛荘の故地を歩く等を予定しています。

また、特別課外講座を1回/半期に開催し、2019年9月には上野の国（高崎方面）の中世・古代遺跡（箕輪城跡・保渡田古墳群等）を訪問しました。

エクセレントⅠ 水曜 10：30 プラザ
世界を旅する③マグレブの国々
（モロッコ、アルジェリア、チュニジア）

皆さんは「マグレブ」という地域をご存知ですか？アラビア語で「日の沈む地」を意味し、モロッコ、アルジェリア、チュニジアを指します。このマグレブの国々は、カルタゴやローマ帝国、アラブ・イスラーム教徒、スペインやフランスなどの支配を受けながらも、それらを融合させることによって独特の歴史を刻み、文化を発展させてきました。

今期は、文明の十字路としてのマグレブの歴史や文化を、モロッコのフェスの迷路やアルジェのカスバ、



チュニスのカルタゴ遺跡など数々の世界遺産と都市などから学び、アラブ化しながらも文化の独自性を維持する先住民ベルベル人と多数を占めるアラブ人の今を追います。

連携（アジア航測）水曜 15：00 時 新百合
地震による災害から命を守るには

アジア航測(株)は、空からの測量を主たる事業とし、そこで得られた情報を基に防災、環境、社会資本のコンサルティング事業を行っています。また、社会貢献活動に積極的に取り組んでおられ、当アカデミーとの連携による講座の開講の運びとなりました。

昨年後期は、「自然環境を指標する生物」でトンボの生態や猛禽サシバ等について学びました。

2020年の前期は首記テーマについて学びます。講師には、元気仙沼市職員で3.11東日本大震災で陣頭指揮を取られた方や都市防災、地震防災工学の専門家等々をお招きしています。

地域企業との連携による講座として、大切にしたいと考えています。



認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

発行人 広報部会 編集人 かわら版編集委員会

川崎市中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習プラザ 3F

電話：044-733-5590 FAX：044-722-5761

問合せメールアドレス：info@npoacademy.jp

ホームページ：http://npoacademy.jp/